

令和元年度 学校生活相談センターの相談状況について(7月末現在)

心の支援課

◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 H30年度(～7月末)	→	本年度 R1年度(～7月末)	
相談件数	283件	→	310件	(27件 増)
延べ回数	448回	→	544回	(96回 増)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	111	35.8%	172	31.6%
	夜間・休日	156	50.3%	274	50.4%
文書 (メール・FAX・手紙)	42	13.6%	94	17.3%	
来所	1	0.3%	4	0.7%	
計	310	100.0%	544	100.0%	

・前年度同期と比較すると、相談件数、延べ回数ともに増加したが、前年度ほどの増加率ではなかった。

・文書(メール)での相談が増えており、前年度同期に比べ相談件数で+15件、延べ回数で+34回増えている。

2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
相談者から連携希望があった案件	16	5.2%	26	4.8%
傾聴を主とした案件	294	94.8%	518	95.2%
計	310	100.0%	544	100.0%

主な連携先

小中学校	… 6件	私学振興課	… 0件
県立高校	… 9件	こども・家庭課	… 0件
県教育委員会他課	… 5件	児童相談所	… 0件
教育事務所	… 1件	子ども支援センター	… 0件
市町村教育委員会	… 1件		

3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	77	24.8%	111	20.4%
5月	89	28.7%	144	26.5%
6月	74	23.9%	148	27.2%
7月	70	22.6%	141	25.9%
8月	0	0.0%	0	0.0%
9月	0	0.0%	0	0.0%
10月	0	0.0%	0	0.0%
11月	0	0.0%	0	0.0%
12月	0	0.0%	0	0.0%
1月	0	0.0%	0	0.0%
2月	0	0.0%	0	0.0%
3月	0	0.0%	0	0.0%
計	310	100.0%	544	100.0%

4 相談者の状況

(1) 主訴(相談者全体)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	34	11.0%	42	7.7%
	不登校・登校渋り	34	11.0%	60	11.0%
	その他	75	24.1%	148	27.2%
学校・教師に関すること	87	28.1%	157	28.9%	
家庭・私生活に関すること	35	11.3%	69	12.7%	
意見・問い合わせ	31	10.0%	36	6.6%	
その他	14	4.5%	32	5.9%	
計	310	100.0%	544	100.0%	

(2) 主訴(子どものみ)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	9	9.7%	11	5.5%
	不登校・登校渋り	5	5.4%	10	5.0%
	その他	38	40.8%	88	44.0%
学校・教師に関すること	17	18.3%	53	26.5%	
家庭・私生活に関すること	9	9.7%	10	5.0%	
意見・問い合わせ	6	6.4%	8	4.0%	
その他	9	9.7%	20	10.0%	
計	93	100.0%	200	100.0%	

(3) 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	93	30.0%	200	36.8%
本人	93	30.0%	200	36.8%
本人以外の子ども	0	0.0%	0	0.0%
大人	208	67.1%	334	61.4%
父	31	10.0%	43	7.9%
母	152	49.0%	259	47.6%
祖父	3	1.0%	4	0.7%
祖母	5	1.6%	6	1.1%
その他の大人	17	5.5%	22	4.1%
不明	9	2.9%	10	1.8%
計	310	100.0%	544	100.0%

・相談者の内訳を見ると、相談者の約3分の2が大人である。前年度同期と比べると、子どもからの相談の割合が-2.1%、延べ回数が-6.8%と若干減っているが、件数自体が減っているわけではない。

・保護者からの相談は、子どもからの相談に比べて学校・教師に関することが主訴となることが多い。

5 相談対象者の状況

(1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	122	39.4%	222	40.8%
女	148	47.7%	261	48.0%
不明	40	12.9%	61	11.2%
計	310	100.0%	544	100.0%

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	4	1.3%	4	0.7%
小学生(低学年)	32	10.3%	35	6.4%
小学生(高学年)	37	11.9%	52	9.6%
中学生	78	25.2%	125	23.0%
高校生	132	42.6%	252	46.3%
その他	11	3.5%	42	7.7%
不明	16	5.2%	34	6.3%
計	310	100.0%	544	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	68	21.9%	185	34.0%
東信	29	9.4%	35	6.4%
中信	29	9.4%	42	7.7%
南信	31	10.0%	99	18.2%
その他	2	0.6%	2	0.4%
不明	151	48.7%	181	33.3%
計	310	100.0%	544	100.0%

- ・相談対象者は、女子の方が1割近く多い。
- ・相談の対象者について、中・高校生が約3分の2を占めている。

7月まとめ

- ・4月から延べ回数が3桁となる月が続いている。昨年7月の相談延べ回数141回は前年度最高値だったが、今年7月も同値となった。
- ・進学先の高校が合わない、部活動でのトラブル等何らかのきっかけをもって、子どもが不登校状態にある保護者からの相談が目立った。また、発達障がいをもった生徒に対する学校対応についての相談も複数あった。